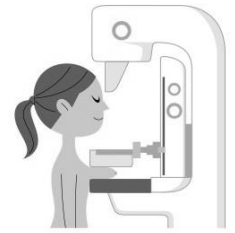




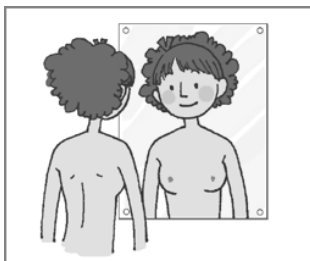
検査室だより

高く澄んだ空にはいわし雲。朝晩は急に冷えるようになりました。少し冷たい空気を胸いっぱい吸い込んで、さあ今日も一日がんばりましょう。

少し前に、「乳がん早期発見に光」という新聞記事が出ました。神戸大学で新しい乳がんの検査装置が開発されたというニュースです。マンモグラフィーのような痛みや被爆のリスクがなく、超音波検査では見つけれられないような深い位置にあるがんもしっかり見つけれられるという優れものです。しかも！乳腺組織の密度が高い「高濃度乳房」での見落としも少ないそうです。その検査装置はオッパイに微弱な電波（マイクロ波）を約10分あてて反射した電波からオッパイの立体構造を画像化します。その画像を見てがんなどの悪いものがないかを見る検査です。大きさ0.5mmのがんでも発見が可能とされています。近年、乳がん患者は増えています。乳がんは、早期に発見できれば10年生存率は90%以上です。2021年の販売開始を目指して日夜研究されているようです。一日でも早くこの新しい検査装置が承認されるといいですね。早期発見・早期治療につながる新たな技術としてめちゃくちゃ期待します！そうは言ってもまだまだ主流はマンモグラフィーと超音波検査。



びっくりするくらいギュッとオッパイをはさんで、めちゃくちゃ痛い（・・・人もいる）マンモグラフィー検査をするか、検診での有効性の確認がいまだに確立されていない超音波検査をするか迷うところです。どちらの検査にもメリッ



ト・デメリットがあります。情報あふれる現代ですが、健診機関などから正しい情報を得て自分にあった検査方法をぜひ見つけてください。もちろん、セルフチェック（自己触診）が一番大事です。一か月に一度決まった日に自分のオッパイを触っていつもと違うところはないかじっくり観察してください。

早くも「インフルエンザで学級閉鎖」のニュースが流れてきました。私の周りにも風邪ひきさんがいます。美味しい物がいっぱいの秋です。しっかり食べて病気に負けない体力づくりをしましょう。

